

デリバリーうき

新ヒーローが誕生

1月14日に国立競技場で行われた第55回全日本大学サッカー選手権で、駒澤大学のエースでFWの巻佑樹さん（小川町出身）が高さで2得点、早稲田大学を6対1で破り、チームを3連覇、6度目の優勝に導きました。巻さんは大会MVPを受賞。卒業後は名古屋グランパスエイト入りが決まっています。昨年のW杯日本代表に選ばれた兄の誠一郎さんに続き、今後の活躍が期待されます。



写真：名古屋グランパスエイト提供
新加入選手記者会見で記念撮影をする巻さん（下段中央）

全市から県代表メンバーに3人が選出 全国都道府県対抗駅伝で県勢入賞

女子（9区間、42.195キロ）は1月14日に京都府で行われ8位、男子（7区間、48キロ）は21日に広島県で行われ5位と、県勢が男女共に入賞しました。市からは県代表メンバーとして、女子は秋岡汐吏さん（松橋高2年）、男子は札元貴大君（松橋中3年）と谷川智浩君（熊本工高3年）の3人が選ばれ、札元君が2区、谷川君が5区で出場。いずれも前走者を抜く好走を見せ、男子の5位入賞に大貢献しました。



札元貴大君（松橋町）は男子2区で8人抜きをしました



出場はなりませんでした、秋岡汐吏さん（松橋町）は今後の活躍に期待がかかります



谷川智浩君（小川町）は男子5区で2人抜きをしました

子どもを励ます言葉について講演する坂本さん



親子で幸せになろう

公立の保育園（所）・幼稚園・児童館の保護者と職員で結成された宇城市の子育てを考える会が、1月14日にレポートで育児奮闘中の人を対象に行いました。同会初のイベントとなる今回は、教育評論家・坂本光男さんの講演会をはじめ、各園の保護者代表による園紹介、託児での人形劇など、盛りだくさんの内容でした。また、館内には各園の作品が展示され、参加者を楽しませました。

園児が農業体験と料理教室

1月20日に松橋保育園で行われ、同園の年長児33人と保護者などが参加しました。松橋町農村女性支援グループ（清原郁子会長）が「生産」と「消費」、「食」と「農」の理解を深めようと平成15年度から毎年実施しているものです。食材は地元農産物と、昨年10月に園児が種をまいて育てたダイコンやホウレンソウなどを使用。委員の指導を受けながら、和気あいあいと調理を楽しみました。



だご汁やレンコンチップ、イチゴ大福を作る参加者

飲んだら乗るな

12月18日、宇城警察署管内の酒類販売店の経営者でつくる「愛の一声運動推進会」（田爪武照会長・約250店舗）の主催で飲酒運転の防止を呼び掛けました。和服姿の女将や飲食店関係者約30人が宇城署玄関前で「飲酒運転を止めましょう！」と書かれたバッジやたすきを付け、道行くドライバーに花苗やティッシュなどを配りながら「飲酒運転をしないでください」と声を掛けました。



ドライバーに飲酒運転防止を呼び掛ける参加者

阿曾田市長と握手をする中内さん



今後の活躍に注目

このほど、不知火町松合出身の中内剛さん（23歳・熊本市）がゴルフのプロテストに合格。1月21日夜に、地元支援者やゴルフ仲間など約240人が出席して合格祝賀会が開かれました。また、23日に市役所を訪れ、阿曾田清市長にプロゴルファーとしての決意を語りました。中内さんの今後の活躍に期待がかかります。